

なかった。イシカワシラウオは、稚魚や未成魚の時期においては、雌雄によって全長に差は見られないが、産卵期のこの時期に限って、明らかに雌の方が大きくなる。刺し網で漁獲した親魚の、雌雄別漁獲個体数と平均全長組成を(表-3)に示した。

表-3 刺し網で漁獲した親魚の、雌雄別漁獲個体数と平均全長組成(1987年)

漁獲月日	漁獲位置	雄		雌	
		漁獲個体数(尾)	平均全長(mm)	漁獲個体数(尾)	平均全長(mm)
2月10日	小良ヶ浜前	72	65.8	21	69.0
2月27日	熊川前	58	67.1	75	71.3
3月17日	熊川前	35	67.2	180	72.7
3月17日	小良ヶ浜前	3	65.3	8	71.1
3月27日	熊川前	100	68.1	57	72.8
4月13日	熊川前	552	65.7	117	73.7
4月13日	小良ヶ浜前	6	63.9	23	72.3
4月28日	熊川前	76	67.4	29	73.2
5月21日	小良ヶ浜前	100	67.5	12	73.9
5月29日	小良ヶ浜前	57	69.0	86	75.8
6月6日	小良ヶ浜前	94	67.6	41	73.6
6月16日	小良ヶ浜前	89	67.7	97	74.7
6月24日	小良ヶ浜前	91	67.9	55	74.6

### 性比

産卵場調査において、刺し網で採捕した親魚の性比にはかたよがりが見られ、雄の多いとき、雌の多いときなど様々であり、日によって異なった。(図-5)に小良ヶ浜で採捕した親魚の、性比の経時変化を示した。イシカワシラウオも成熟期には、雄雌が別々の群をつくって行動するものと、考えられている。

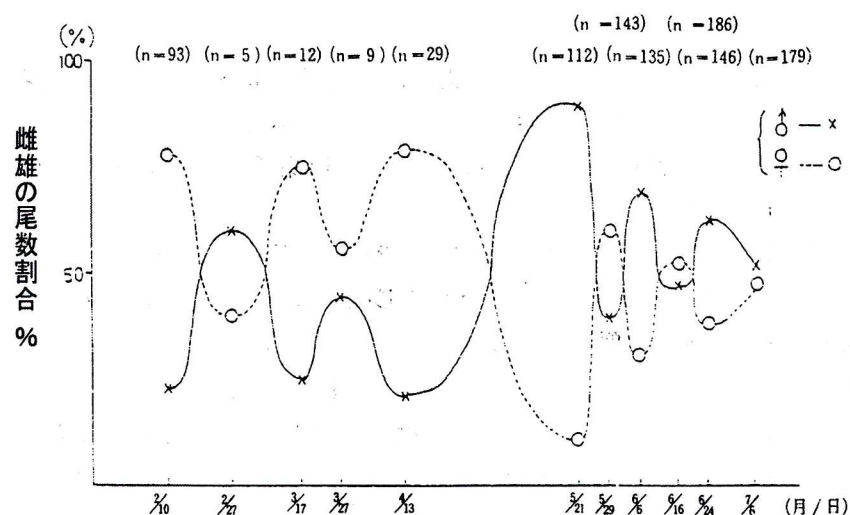


図-5 刺し網で採捕した親魚の性比(小良ヶ浜産卵場 1987年)

竹内は、堀田がシラウオで指摘しているように、イシカワシラウオでも成熟期には、雌雄が別々の群をつくり行動することを指摘し<sup>3)</sup>、産卵時に生殖行動に関与して、雌雄同数になると考えれば、産卵時期の